



慶應義塾大学出版会 新刊案内

2024

5月



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita*

意識と目的の科学哲学

田中泉史（慶應義塾大学文学部准教授）・鈴木大地（筑波大学生命環境系生物学域助教授）・
太田紘史（新潟大学人文学部准教授）[著]

ココに注目！

- ・「意識の哲学」の基礎から最新の動向まで網羅。
- ・意識の起源を探る難問に進化論的アプローチから挑む！

私たちの主観的経験に結びつけられる意識。この意識は脳神経系という物理的な存在から発生するにもかかわらず、科学的な解明が難しいとされる。本書は「意識の哲学」の基礎を踏まえつつ、意識とは何か、そしてそれがどのように生じたのかという難問に対して、進化論的アプローチから挑む。

税込予価 **770 円** 新書判並製 / 118 頁

ISBN 978-4-7664-2962-6 C0310

対象：哲学の初学者

部数：★★★

配本予定：5 月中旬

類書

ピーター・ゴドフリー＝スミス『タコの心身問題』（みすず書房）

シリーズ好評既刊

『小さな倫理学入門』

第7刷

山内志朗 著

定価 **770 円** 新書判並製 / 104 頁 ISBN 978-4-7664-2276-4 2015 年 10 月



〈声なき声〉のジャーナリズム

マイノリティの意見をいかに^{すく}掘り上げるか

田中瑛^{あきら} (九州大学大学院芸術工学研究院助教、東京大学大学院情報学環客員研究員) [著]

🔍 ココに注目！

- ・高度情報化社会の中でジャーナリズムはマイノリティの意見を掘えるか？
- ・フェイクニュースが溢れる SNS 時代のジャーナリズムの在り方を問う。
- ・『虎ノ門ニュース』『ハートネットTV』『クィア・アイ』等の話題性の高い番組を分析。

誰もが情報を発信し情報が氾濫する時代において、ジャーナリストはいかにして情報の「真正性」(本物らしさ)を担保し、少数者の意見を掘り上げることができるのか。『虎ノ門ニュース』『ハートネットTV』『クィア・アイ』といった話題となった番組も取り上げ、SNS時代のジャーナリズム論を考察する。

税込予価 **3,520 円** 四六判上製 / 288 頁
ISBN 978-4-7664-2963-3 C3036

対象：(メディア論を専攻する) 研究者・学生、
ジャーナリスト

部数：★★★

配本予定：5 月上旬

📖 類書 山腰修三「ニュースの政治社会学」(勁草書房)

【主要目次】

- 序 論 「声なき声」をどのように活性化すべきか
- 第 1 章 「声なき声」の活性化、「真正性」の政治
- 第 2 章 「声なき声」と娛樂化する政治
——『虎ノ門ニュース』における「読解の肩代わり」
- 第 3 章 公共サービスメディアの葛藤
——『ハートネットTV』におけるメッセージ性と真正性の調停
- 第 4 章 ポピュラー・ジャーナリズムとしてのリアリティTV
——『クィア・アイ』における「裏側の物語」と連帯の政治
- 第 5 章 ジャーナリズムの境界線を引き直す
——対話の場を紡ぐための役割
- 第 6 章 「真正性」の政治を内側から攪乱する
——オルタナティブなメディア環境はどのように可能か
- 補 論 対話のためのメディア・デザインに向けた試論
——メディア・ワークショップの設計と批判的考察から

著者既刊

『日本は「右傾化」したのか』

小熊英二・樋口直人 編

定価 **2,200 円** 四六判並製 / 376 頁 ISBN 978-4-7664-2694-6 2020 年 10 月



環境学入門

法学・経済・自然科学から考える

青木淳一（慶應義塾大学法学部教授）・一ノ瀬大輔（立教大学経済学部准教授）・

小林宏充（慶應義塾大学法学部教授）【編著】

📖 ココに注目！

- ・社会科学の視点を交えて環境問題を考える！
- ・環境問題を初歩から学ぶ、文系学生のためのテキスト。

環境問題と向き合うためには、法律学、経済学、そして自然科学の観点から総合的に検討する必要がある。環境問題の主要テーマ（循環型社会、生物多様性、気候変動と温暖化対策）において、いま何が問題で、どう解決すべきなのか。文系の学部一年生向けにわかりやすく示すテキスト。

税込予価 **1,980 円** A5 判並製／208 頁

ISBN 978-4-7664-2957-2 C0030

対象：環境問題を初歩から学ぶ学生、一般読者

部数：★★★★

配本予定：5 月下旬

📖 類書 藤倉良・藤倉まなみ 著『文系のための環境科学入門 新版』（有斐閣）

【営業部からのおすすめコメント】

2017 年に刊行された『法学・経済学・自然科学から考える環境問題』の実質的な改訂版となる本書。法律・経済・自然科学それぞれの観点から環境問題を考えるテキストはほかにも多数ありますが、この 3 つの分野を 1 冊で横断し、総合的に検討しているのが本書のポイントです。また、大学の講義で使用しやすいよう章立てを全 12 章に整理し、社会科学系・人文系の教養課程でテキストとして使用することを念頭に置いて編集されています。大学生のほか、環境問題を一から学びたい読者にもおすすめです。

（福本）



実践ファイナンス論

辻幸民（慶應義塾大学商学部教授）〔著〕

🔍 ココに注目！

- ・金融・証券業界の実務家のための実践テキスト！
- ・基礎のおさらいから、躓きやすいポイントも押さえて解説。
- ・実際に、Excel等のソフトを使い“手を動かして”学べる作り。

長年にわたりファイナンス論を学ぶ学生や実務家をサポートしてきた著者による、躓きやすいポイントを押さえた実務家向けテキスト。ファイナンス論の基礎はもちろん、実際にExcel等のソフトやデータを用いて“手を動かす”ことで実践的なテクニックも習得できる。

税込予価 **2,970 円** A5 判並製／292 頁

ISBN 978-4-7664-2964-0 C3033

対象：金融・証券業界従事者、企業財務担当者

部数：★★★

配本予定：5 月下旬

📖 類書 山下草太「金融界のための実践ファイナンス講座〈第3版〉」
(中央経済社)

【主要目次】

第1章 ファイナンス論の意義

- 1.1 はじめに
- 1.2 赤字主体と黒字主体
- 1.3 金融取引
- 1.4 支払約束の種類
- 1.5 「待ち」と「リスク」
- 1.6 ファイナンス論の中身
- 1.7 補論：各部門の資金過不足について

第2章 利率と利回り

- 2.1 基本的な考え方
- 2.2 利率の計算例
- 2.3 債券の利回り
- 2.4 複利とは
- 2.5 株式の利回り：株価の断層
- 2.6 データとしての株式利回り
- 2.7 様々な株式利回り
- 2.8 補論：1 年単位利回りへの変換

第3章 現在価値の計算

- 3.1 基本的な考え方
- 3.2 エクセルを使って
- 3.3 簡単な具体例 2 つ
- 3.4 1 年に複数回の利払い：毎月均等返済の場合
- 3.5 1 年に複数回の利払い：債券の場合
- 3.6 効率的資本市場仮説と資本市場均衡

第4章 ポートフォリオ理論の実用性

- 4.1 ポートフォリオ理論とは
- 4.2 危険資産の最小分散フロンティア
- 4.3 エクセルマクロを使った計算
- 4.4 安全資産を含めた有効フロンティア
- 4.5 ポートフォリオ理論を使って
- 4.6 ポートフォリオの事後的パフォーマンス

第5章 CAPM と株式資本コスト

- 5.1 はじめに
- 5.2 CAPM の導出
- 5.3 TOPIX の動向
- 5.4 無危険利率 RF について
- 5.5 マーケットポートフォリオ収益率 r_M
- 5.6 CAPM の数値化について
- 5.7 結びに代えて

第6章 企業金融論の基礎概念

- 6.1 はじめに
- 6.2 企業価値とは
- 6.3 株価の式の単純化
- 6.4 修正 MM 命題について
- 6.5 平均資本コストとは
- 6.6 資本コスト（第 2 命題）の使い途
- 6.7 結びに代えて

第7章 投資の意思決定と負債

- 7.1 はじめに：IRR 法と NPV 法、DCF 法
- 7.2 修正 MM 命題と投資の意思決定
- 7.3 負債のエージェンシーコストと投資の意思決定
- 7.4 企業価値最大化の意味
- 7.5 結びに代えて

付録 A 統計学の基礎知識 267

付録 BVBA プログラム 273